2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	腺腫瘍学特論Ⅰ・Ⅲ	平 成人

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

腫瘍学の研究者として，科学的根拠に基づいた思考法を身につけるため，癌の疫学，発生のメカニズム，診断，治療の全般を理解する。

授業到達目標

（1）乳癌，甲状腺癌の生物学的特徴や臨床的問題点を具体的に説明できる。
（2）乳癌のサブタイプ分類を理解し，適切な治療法を提示できる。
（3）甲状腺分化癌，低分化癌，未分化癌の適切な治療方針を提示できる。
（4）がんサバイバーシップに関する最新の知識を得て，課題を説明できる。
（5）高齢がん患者の諸問題，包括的機能評価の意義を説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	16:00-17:00	平 成人	講義	[抄読会・症例検討会]	乳癌，甲状腺癌の診療や研究に関する新しい話題を英文文献を用いて紹介し，それに対する考察・討議を展開する。 乳腺甲状腺外科症例検討会 [場所:本館棟５階カンファレンス室１]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で，講義は 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で，講義は 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。
紹介論文の基礎的・臨床的な意義に関し考察する。

教科書

ISBN-9784307204507，乳腺腫瘍学 第４版，日本乳癌学会編，金原出版，2022

参考書

ISBN-9784307204415，乳癌診療ガイドライン 1 治療編 2022 年版 第 5 版，日本乳癌学会編，金原出版，2022
ISBN-9784307204422，乳癌診療ガイドライン 2 疫学・診断編 2022 年版 第 5 版，日本乳癌学会編，金原出版，2022

準備学習（予習・復習等）

紹介論文に関連した論文を PubMed を用いて検索・評価し，科学的な重要性を確認する。
論文要旨を文献管理ソフト，あるいは文献シート等に記載し，復習するとともに論文執筆の参考文献として活用する。
課題トピック，最新の論文につきあらかじめ予習（1 時間）をし，学習後は要約をまとめ（1 時間），整理しておくこと。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

積極的に抄読会に参加し，意見を述べてください。